

虹



国見町立
 県北中学校
 H 31.2.15
 (金)
 第 39 号

2 学年だより

次は、3月7日(木)に 実施される実力テスト！



学年末テストが終わり、ほっとしたのもつかの間、次は、2年生まとめの”実力テスト”が行われます。早速テストが終わった14日(木)に範囲表を配布しました。

実力テストでは、2年生の内容がどのくらい身につけているのか、落ち込んでいる内容はどこか、苦手な分野はどこか・・・などを確認できる貴重なテストです。そして、実力テストの結果を見て、自分の課題が明確になり、春休みの時間を使って復習に力を入れて取り組むことができます。

まずは、気を抜かず、2年生の復習に取り組み、実力テストに備えましょう。すべては準備で決まります。ナビを利用した家庭学習を行いましょう。

3月7日(木)はⅡ期入試の日です。来年の自分をイメージして取り組んでほしいです。

2学年主任 今村恵美子

3年生になるまでに、 もう一度家庭学習の取り組み を見直してみよう！



☆トレナビはやっているけど、じっくりと問題に向き合っていない。

☆自主学習は、やるだけ。



☆ラーニングナビをじっくり読みながら、問題を解く。解説も載っているので、丁寧に読みながらやれば、基本問題は解けます。

☆自主学習は、自分で課題をもって取り組もう。

例えば・・・

① 「テスト振り返り週間」と銘打って、2日で1教科の計画で、間違いを徹底的に直す。もう一度テストを解いてみる。

② 「計算マスター週間」とし、数友の問題をもう一度すべて解いてみる。

③ 「歴史の年号覚える週間」とし、年表を書いて、部屋に貼っておく。寝る前に必ず声に出して読んで寝る・・・

やり方は色々ありますが、まずは**継続して取り組む**、そして自分で考えて**取り組む**ことです。

そして「**1人で学習できる力**」を身につけてほしいのです。

わからないところを教えてもらうことは必要ですし大切なことです。しかし、教えてもらった後は、自分ひとりでもう一度解き直し、出来て初めて自分の力になります。だからこそ、**1人で学習する習慣**を、**1人で学べる生徒**になってほしいと思います。1日2時間は無理だとしても、90分だったら出来ませんか？30分を1サイクルにしてもよいですし、45分1サイクルにしてもよいと思います。

テストが終わった今だからこそ、今までの学習への取り組みを見直し、実行に移して行ってほしいです。

暴力団排除標語コンクール 表彰式



修学旅行FWの話し合い、大詰めを迎えています!!

☆バスの時刻を調べたり、体験場所や昼食場所に予約を入れたり、バタバタと活動しています。京都でどんな発見をしてくるのか、どんな人と出会ってくるのか、どんな気づきをしてくるのか、今から楽しみです。



【2年1組】



～各クラスFWの話し合い～



【2年2組】



【2年3組】



♥今週の行事予定♥

	トナリ	○行事予定 ★提出・持参物
18月	国9	○月2・3・4・5・6・総合
19火	スベ	○火1～6
20水	スベ コン	○水1・2・3・道徳 ○生徒会総会・3年生を送る会 *簡単清掃（昼）短縮授業
21木	スベ コン	○金1・2・3・4・学活○校内研修会 *簡単清掃（昼）短縮 部活動なし *完全下校 14:35
22金	スベ コン	○木1・2・3・4・総合・総合 *スプリングコンテスト

「受験期は人生の黄金期」

（前略）

受験とは何かについて、よく知る知らないのでは受験に対する考え方や取り組み方、したがってその結果もずいぶん違ってしまふことがおわかりいただけたでしょう。

同じことは「自分自身」についてもいえます。みなさんがみなさん自身についてどれだけ関心があり、どの程度知っているかどうかで、受験に対する取り組み方やその結果はやはり大きく変わってきます。

たとえば、今皆さんは人生のどういう時期に直面しているかおわかりでしょうか。このことをちゃんと知っているかどうかだけでも、受験はもとよりみなさんの、人生そのものまでが大きく左右されてしまいます。

中学受験、高校受験とぶつかる小学校高学年から中学生にかけてのいわゆる十代前半は、一生のうちでいちばん生命力が旺盛ないわば、成長期へのハイライトと目されるまったく特殊な時期です。

そこで、わたしはこの時期を、人生における「黄金の時期」と呼んでいるわけです。つまりこの時期は、一人前の人間に向けて自立を始める、いわば子どもから大人にむかって基礎（土台）づくりをするきわめてだいじな時期なのです。どういう基礎づくりをするか、それによって人生の大半は決まると言っても過言ではありません。ですから、みなさんはまずこの事実をしっかりと自覚することが肝心です。このことを知るだけでも、この時期と重なる受験期の過ごし方がいかに大切かわかるのではないのでしょうか。（「君たちは受験生」 百瀬昭次著